

第4次交野市子ども読書活動推進計画【進捗状況調査確認表】

1. 家庭における子どもの読書活動の推進

	実施項目	第2,3次	方向	主体	R4年度 評価	R5年度 評価	R6年度 評価	令和7年度 実施内容および実績等	令和7年度 評価	R8	令和7年度 担当課
①	ブックスタートの実施 （4か月児健診時に読み聞かせの啓発と絵本の無料配布）	有	継続	市	B	B	B	H27.12より絵本の配布を開始。こども家庭室の健診の最後に絵本の紹介と配布を実施。あかちゃん絵本7冊から1冊の選択制。12回、対象505人、493冊を配布。ほかにも取り寄せた「本よんで、よんでもらってうれしいさん」（東京子ども図書館/作成）の冊子の配布を行った。 大阪府作成の多言語リーフレットを設置、日本語を母国語としない当該保護者へ配布。 令和7年度大阪府新子育て支援交付金455,000円を活用。	B：目標どおりできた		図書館 こども家庭室
②	乳幼児のいる家庭向け絵本紹介 （地域ボランティアや市立図書館からの絵本紹介）	有	継続	地域市	C	A	B	・図書館内でのテーマ展示、特集展示で啓発及び利用促進 ・読み聞かせボランティアによる乳幼児向けおはなし会の実施@青年の家図書室11回 66人参加	B：目標どおりできた		図書館 こども園課 子育て支援課
③	地域やボランティアによるよみきかせの促進 （子育てサロン、子育てサークル、地域子育て支援拠点、放課後児童会での日常的な活動内でのよみきかせ実施）	有	継続	地域	B	B	B	・出前講座は、子育てサロン、地域子育て支援拠点、小学校PTAでの講義 計9か所 155人、ほか読み聞かせ絵本の選書協力等 ・放課後児童会での日常的な絵本のよみきかせ ・リサイクル・フェアによる児童書の提供 3児童会 145冊	B：目標どおりできた		社会福祉協議会 子育て支援課 図書館
④	認定こども園・幼稚園や学校における家庭への啓発 （市立認定こども園等での絵本の貸出、学校での学校通信等を通じた家庭への啓発）	有	継続	園学校	B	A	A	・各年齢に応じたおすすめ図書の紹介を毎月のクラスだよりで配信している。 ・各部屋に絵本棚がある。 ・うたとセットで読める絵本などを活用し、絵本を読んだ後に歌ったり踊ったりしている。 ・図書館で借りている絵本や、園で購入した絵本を玄関先のエントランスに置き、送迎にきた保護者とこどもと一緒に楽しんでもらっている。またおすすめの絵本を見開きの状態で展示したり、絵本ではなく図鑑（小学生向け）なども保育室に絵本と一緒に置いている。 ・暮らしのいろんな場面で、様々な「絵本」に助けてもらったり、楽しませてもらったりしている。また、図書館から借りた絵本を、いつでも誰もが手にとれるように、エントランスに置いて楽しむことは、今年度も行っている。送迎時に保護者と一緒に楽しんだり、「これよんで…」と自分のお部屋に持ち帰って、お部屋の友達と一緒に楽しんだりしている。 ・全園児で、音読をする時間を設けている。 ・長年同じ方に素話をして頂いたり、三学期には近隣の小学校の校長先生や教頭先生が絵本の読み聞かせをしてくれる。 ・テーマごとにおすすめの本を保育士からアンケートし、園児に紹介し保護者へは掲示して周知するという取り組みをしていた。 ・小学校の校長先生に不定期で読み聞かせに来ていただいている。読書活動の意味合いに加え、小学校の先生とつながる機会としても貴重な取り組みになっている。 ・食育や歯みがき指導などで、積極的に絵本の読み聞かせを行っている。 ・降園時に親子で触れ合えるような絵本棚が並び部屋がある。降園する時に、保護者の方がお子さまに絵本を読んでもらえる様子が見受けられる。また、保育中も絵本のお部屋で過ごす子どもたちの様子も見られる。	A：目標を大きく上回ってきた		図書館 学校教育課 こども園課
⑤	子ども向けイベントの実施 （図書館利用促進のため、ぬいぐるみおとまり会、一日図書館員の募集、実施）	有	継続	市	B	B	B	・一日図書館員 4人 ・ぬいぐるみおとまり会 32人参加。いずれも定員を上回る申し込みがある人気事業。	B：目標どおりできた		図書館
⑥	子どもが集う場所での児童書の充実 （まちの図書館等での絵本や児童書の充実、本を読む機会の拡充）	－	新規	市	C	A	B	・「まちの図書館」へ児童書の入れ替えを行った。 ・リサイクル・フェアにて3団体へ絵本の提供（子育て支援課（つどいの広場）、子育てネットワークティンクル、ぼらりすひろば）合計101冊。	B：目標どおりできた		図書館 子育て支援課
⑦	赤ちゃんタイムの実施 （乳幼児とその保護者が気兼ねなく図書館利用ができる時間帯の設定）	－	新規	市	D	B	B	・令和7年4月から倉治図書館にて試行中であった「赤ちゃんタイム」を本格実施した。 ・利用が落ち着いた10月頃、こども園等の協力により、「赤ちゃんタイム」のポスター10枚、チラシ530枚の周知を行った。 ・赤ちゃんタイム時に、保健師2人を依頼し、育児相談会を開催した。事前予約制 2組参加。 ・地域子育て支援センターからの依頼により、赤ちゃんタイム利用者へ事業者による案内等の周知の場を提供。	B：目標どおりできた		図書館
⑧	図書館利用の整備 （子育て世代の図書館利用促進にかかる環境整備、サービスの充実）	－	新規	市	D	A	A	令和6度に購入したブンブン号を活用するため、星田北地域に3か所の試行巡回を行った結果、9月から新しく2ステーションの増設となった。合計13ステーションとなったが、ブンブン号での個人貸出冊数が前年度比約25%の増加となった。	A：目標を大きく上回ってきた		図書館

*評価の基準 A：目標を大きく上回ってきた B：目標どおりできた C：概ねできた D：少しはできた E：できなかった

2. 学校等における子どもの読書活動の推進

(1)認定こども園・幼稚園・保育所等の役割と取組み

	実施項目	第2,3次	方向	主体	R4年度 評価	R5年度 評価	R6年度 評価	令和7年度 実施内容および実績等	令和7年度 評価	R8	令和7年度 担当課
①	市立認定こども園の絵本蔵書の充実 (園300冊を目指す、リサイクルフェアの活用、 団体貸出を含む)	有	継続	園	B	B	B	ブンブン号夏季巡回にて団体貸出 2園 231冊、団体貸出100冊 団体貸出等を活用し、2園とも400冊以上の絵本や児童書を所蔵、家庭へ貸出を行っている。	B：目標どおり できた		図書館 こども園課
②	市立認定こども園の保護者へ絵本の貸出実施 (H27年度当初からすべての公立園で実施)	有	継続	園	B	B	B	・2園中2園とも実施している。 ・テーマごとにおすすめの本を保育士からアンケートし、園児に紹介し保護者へは掲示して周知するという取り組みを行っている。	B：目標どおり できた		図書館 こども園課
③	私立認定こども園、幼稚園の絵本蔵書の充実 (リサイクルフェアの活用、団体貸出を含む)	有	継続	園 市	A	A	B	・ブンブン号夏季巡回にて団体貸出12園 783冊 ・リサイクル・フェア参加 6園 186冊 ・園が図書館図書室へ来館し、直接本を選ぶ団体貸出 1,388冊 計2,171冊の貸出を行った。	A：目標を大きく上 回ってできた		図書館
④	私立認定こども園、幼稚園等の保護者へ絵本の 貸出実施 (協力要請により順次実施)	有	継続	園	B	B	A	・アンケート回答のあった21園中2園が貸出を実施、昨年度の7園より減少した。 ・上記1. 家庭における取組④のように、年々工夫を重ねている園が多い。	C：概ねでき た		図書館 こども園課
⑤	幼稚園教諭や保育士に読み聞かせ講習会 (年齢別絵本の選び方や読み方等)	有	継続	園	D	D	E	アンケート回答のあった21園中16園が読書についての学習の機会を希望。具体的な日程調整が難しく、実施には 至っていない。	E：できな かった		図書館 こども園課
⑥	ブンブン号（移動図書館）の夏季巡回（希望する園等に個別巡回を行う）	有	継続	市	B	B	B	・ブンブン号の夏季巡回は14園 1,014冊の貸出、保育士、幼稚園教諭へも資料提供を行った。同時に、図書館 の蔵書を期限なく貸し出し、園で活用するための団体貸出依頼は570冊であった。 ・熱中症警戒アラートが発令されたため、キャンセルや時間を変更する園もあった。	B：目標どおり できた		図書館
⑦	認定こども園や幼稚園等向けに乳幼児期の絵本の紹介（絵本リストの作成と配布）	有	充実	園	B	B	A	・広報紙に「新しい本から」として新刊の中から児童書を2冊取り上げ、本の紹介を行っている。紹介した本は 予約が入るなど有効な読書案内となっている。 ・広報紙で取り上げる「いっしょに読んで科学・知識のえほん」をテーマに、対象作品をピックアップし、リストを作成した。配布は行っていない。 ・「本よんで、よんでもらってうれしいさん」（東京子ども図書館/作成）の冊子をブックスタート時および希望するこども園等へ1,020冊配布した。 ・上記1. 家庭における取組④のように、「読書体験」を目的に工夫を重ねている園が多い。	B：目標どおり できた		図書館 こども園課
⑧	市立児童発達支援センター（こどもゆうゆう） への団体貸出等 (ブンブン号利用による団体貸出とおはなし会)	有	継続	市	B	B	B	ブンブン号での団体貸出 120冊 3か月ごとにテーマにそった絵本を司書が選書	B：目標どおり できた		図書館 児童発達支援センター

(2)学校の役割と取組み

	実施項目		方向	主体	R4年度 評価	R5年度 評価	R6年度 評価	令和7年度 実施内容および実績等	令和7年度 評価	R8	令和7年度 担当課
①	全校一斉読書の実施 （朝の時間等を活用した、一斉読書への取組み）	学校教育ビジョン R2からの取組み	継続	学校	B	B	C	市立学校7校にて実施した。	D：少しはできた		学校教育課
②	市立図書館との連携 （学級文庫や授業支援、ビブリオバトルやブックトーク等への団体貸出、訪問おはなし会の実施）		継続	学校	B	B	B	・団体貸出（学級文庫および調べ学習、授業支援、小学校は図書館巡回便含む）小学校10,934冊、中学校387冊（交野みらい学園含む）。小学校は微減、中学校は増加した。 ・図書館見学小学校6校9学年、中学生職場体験 3校 10人 ・「あつまれ本好きの森プロジェクト」①図書館司書体験②大阪大学附属図書館見学ツアー③ビブリオバトルワークショップ（大阪工業大学知的財産学部 水野五郎教授 協力）を実施した。小・中学校より15人の参加があった。	B：目標どおりできた		学校教育課 図書館
③	学校図書館を活用した授業の推進 （全校における学校図書館利用計画の作成、市立図書館での団体貸出等の利用による学校図書館を活用した授業の充実）		充実	学校	B	B	B	・学校図書館利用計画の推進と適宜見直し及び改善を行った。 ・各教科等において、図書館資料や新聞を活用した授業を実践した。	B：目標どおりできた		学校教育課
④	図書館資料の整備 （学校図書館図書標準（量と質の確保）の達成に向けた整備）		継続	学校	B	B	B	・学校司書やサポーターを配置し、図書担当教員等との連携により蔵書の量と質の向上に努めた。 図書館蔵書の充実を図った。（令和7年度 小学校2,011冊、中学校656冊購入）	B：目標どおりできた		学校教育課 まなび支援課
⑤	学校図書館の環境整備 （学校図書館司書の配置、学校図書館の環境整備、蔵書のデータベース、毎日開館、推薦図書コーナーの設置、図書館による小学校巡回便の活用、定例会による情報共有）		継続	学校市	B	B	B	・学校司書やサポーターを配置し、児童生徒の実態に応じた環境整備に努めた。 ・小学校巡回便の活用による調べ学習対応、授業支援、学びあいサポーター定例会での児童書に関する情報提供。	B：目標どおりできた		学校教育課 図書館
⑥	地域ボランティア対象研修の実施 （学校司書や学校図書ボランティア、学校支援地域本部等の地域人材が読み聞かせなどができるよう市立図書館と連携し、学校図書館ボランティア講座等の研修）		継続	学校	B	B	B	・学びあいサポーター定例会にて、読み聞かせに係る選書や読み方等のスキル向上を図り、各校における読書活動の充実を図った。 ・令和7年度絵本学講座 参加者数36人、「本の装備と修理」講座をワークショップ形式で開催、参加者数10人	B：目標どおりできた		学校教育課 図書館 教育総務企画課
⑦	保護者向けに児童生徒の読書活動の啓発 （学校だよりや図書だより等の学校通信で学校での読書活動の啓発）		継続	学校	B	B	B	学校だよりや図書だより、廊下掲示等にて、学校での読書活動の様子や新刊図書の情報等を発信し、啓発に努めた。	B：目標どおりできた		学校教育課 図書館
⑧	教員向けに子どもの読書活動等に係る講習会の実施 （指導課と市立図書館が共同開催）		継続	学校市	B	B	B	・学校図書館活用教育研修や新聞の活用研修を実施した。 ・令和7年度絵本学講座および「本の装備と修理」講座の開催	B：目標どおりできた		学校教育課 図書館
⑨	異年齢間の読み聞かせ交流の促進 （小中一貫教育、及び中・小・こ幼保連携による取組み）		継続	学校	B	B	B	・各校、委員会活動等で取組みの工夫を図った。 ・学びあいサポーター依頼によるおはなし会用図書選書、巡回便による貸出	B：目標どおりできた		学校教育課 図書館
⑩	障がいのある児童生徒の読書活動の推進（障がいに応じた選書やタブレット等ICT機器の活用）		継続	学校	B	B	B	個々の発達段階や障がい等の状況に応じた学習活動を実施するため、市立図書館と連携し、選書及び団体貸出を実施した。	B：目標どおりできた		学校教育課

※学びあいサポーター（学校図書館司書）は、平成25年度「交野市学校教育ビジョン」に位置づけ学校図書館支援事業の取組みの中で各学校に配置されました。なお、学校図書館司書は、専ら学校図書館に関する業務を担当し、司書教諭と連携しながら、多様な読書活動を企画・実施するなど、学校図書館サービスの改善や充実に努めることとしています。

＊評価の基準 A：目標を大きく上回ってできた B：目標どおりできた C：概ねできた D：少しはできた E：できなかった

3. 地域における子どもの読書活動の推進

	実施項目	第2,3次	方向	主体	R4年度 評価	R5年度 評価	R6年度 評価	令和7年度 実施内容および実績等	令和7年度 評価	R8	令和7年度 担当課
①	地域家庭文庫や読み聞かせ等のボランティア団体との連携・支援	有	継続	地域	A	B	B	・地域家庭文庫への新刊提供 3文庫 88冊、活動は4文庫。 ・読み聞かせボランティアによる事業 おはなし会（青年の家図書室11回66人、星田会館図書室11回62人、こども図書室12回69人）、 おたのしみ会各1回（倉治図書館14人、青年の家図書室18人 こども図書室20人、星田会館図書室13人） ・ブンブン号でのマルシェ参加、すべてのボランティアによる協力があった。マルシェおはなし会2回 144人開催ほか設営等。 ・「絵の本広場」共催 98人 ・地域子育て支援センターのぼらりすとの共催で「日曜ぼらりす 絵の本ひろば」を初めて開催 77人 ・かたの子ども文庫連絡会との共催ストーリーテリング等研修 5回 ・懇談、定例会による情報共有	A：目標を大きく上回ってきた		図書館
②	子育てサロンや子育てサークル等での読書活動の推進（ボランティア紹介や団体貸出の活用）	有	継続	地域社協市	B	B	B	・出前講座は、子育てサロン、地域子育て支援拠点、小学校PTAでの講義 計9か所 155人、ほか読み聞かせ絵本の選書協力等	B：目標どおりできた		図書館
③	放課後児童会における読書活動の推進（団体貸出の活用、指導員講座案内）	有	継続	市	B	B	B	・放課後児童会での日常的な絵本のよみきかせ ・リサイクル・フェアによる児童書の提供 3児童会 145冊 ・放課後児童会入会児童が、自由に読書を楽しみ、読書の幅を広げていくことができるよう、読書活動の機会の提供及び推進	B：目標どおりできた		子育て支援課 図書館
④	子どもの読書に関連した各種講座開催（市民向け児童書関連の講座開催、よみきかせボランティアグループへの研修支援等）「よみきかせサポーター制度」からの移行	－	新規	市	A	A	B	・令和7年度絵本学講座 参加者36人 ・「本の装備と修理」講座 参加者10人 ・かたの子ども文庫連絡会との共催でストーリーテリング等研修5回 ・摂南大学現代社会学部1年生によるFAL事業により、本や図書館を使った企画「大学生が見守ります!!宿題をやろう」、「大学生とみんなで楽しむクイズ大会」、絵本の読み聞かせと工作「作ってワクワク♪しおり&プルバックカー」、トークイベント「学生と語らう1日限りのLibraryカフェ」を実施、参加者のべ35人、ほかに夏のおススメ本の展示「墓本」を行った。	B：目標どおりできた		図書館
⑤	子どもが集う場所での児童書の充実（まちの図書館等での絵本や児童書の充実、絵本に触れる場所・機会の充実）【再掲】	－	新規	市	C	A	B	・「まちの図書館」へ児童書の入れ替えを行った。 ・リサイクル・フェアにて3団体へ絵本の提供（子育て支援課（つどいの広場）、子育てネットワークティンクル、ぼらりすひろば）合計101冊。	B：目標どおりできた		子育て支援課 図書館

＊評価の基準 A：目標を大きく上回ってきた B：目標どおりできた C：概ねできた D：少しはできた E：できなかった

5. 子どもの読書活動の普及啓発活動

	実施項目	第2,3次	方向	主体	R4年度 評価	R5年度 評価	R6年度 評価	令和7年度 実施内容および実績等	令和7年度 評価	R8	令和7年度 担当課
①	本の森プロジェクト（市民団体と連携し、本に親しむためのイベントを開催）	有	継続	実行委員会	E	D	B	図書館・教育総務企画課は不参加	E：できなかった		教育総務企画課 図書館
②	広報紙による絵本及び本の紹介（テーマにそった絵本を毎月紹介）	有	継続	市	B	B	A	・2,3歳を対象とした絵本の紹介記事を広報紙にて毎月掲載。新しく「いっしょに読んで科学・知識のえほん」をテーマに評価の高い作品をピックアップ、職員内でリストを作成、共有した。 ・引き続き「新しい本から」として新刊の中から児童書2冊を取り上げ、本の紹介を行っている。紹介した本は予約が入るなど有効な読書案内となっている。	B：目標どおりできた		図書館
③	子ども向けイベントの実施（利用促進のため、ぬいぐるみおとまり会、一日図書館員の募集、実施）【再掲】	有	継続	市	B	B	B	・一日図書館員 4人 ・ぬいぐるみおとまり会 32人参加。いずれも定員を上回る申し込みがある人気事業。	B：目標どおりできた		図書館
④	子ども読書活動推進計画の公表と周知、進捗状況調査【再掲】	有	継続	市	B	B	B	本計画の公表等、進捗状況調査の実施	B：目標どおりできた		図書館

＊評価の基準 A：目標を大きく上回ってきた B：目標どおりできた C：概ねできた D：少しはできた E：できなかった

4. 市立図書館における子どもの読書活動の推進

	実施項目	第2,3次	方向	主体	R4年度 評価	R5年度 評価	R6年度 評価	令和7年度 実施内容および実績等	令和7年度 評価	R8	令和7年度 担当課
①	図書館システムの機能を活かした児童向けサービスの向上（ブックリストやリンク集の充実、読書マラソンや読書手帳の利用促進等）	有	充実	市	B	B	C	・学校向けWeb予約の準備を進めた。 ・ブックリストをホームページへアップロードするため、リストの整理、作成を行った。	B：目標どおりできた		図書館
②	定例おはなし会、学校訪問おはなし会、季節のおたのしみ会の実施（子どもが集う場所での読書活動推進、他機関との連携）	有	継続	市	A	B	B	・定例おはなし会71回 463人、子ども読書の日記念おはなし会4回 44人、おたのしみ会4回 65人、ブンブン劇場2回 139人 ・「あつまれ本好きの森プロジェクト」①図書館司書体験②大阪大学附属図書館見学ツアー③ビブリオバトルワークショップ（大阪工業大学知的財産学部 水野五郎教授 協力） ・令和7年度絵本学講座 36人 ・「本の装備と修理」講座 10人 ・かたの子ども文庫連絡会との共催でストーリーテリング等研修5回 ・摂南大学現代社会学部1年生によるFAL事業により、本や図書館を使った企画「大学生が見守ります!!宿題をやりよう」、「大学生とみんなで楽しむクイズ大会」、絵本の読み聞かせと工作「作ってワクワク♪しおり&プルバックカー」、トークイベント「学生と語らう!日限りのLibraryカフェ」を実施、参加者35人、ほかに夏のおススメ本の展示「基本」を行った。 ・健康増進課より、特に受診率の低い子宮頸がんワクチン（対象12～16歳女性）接種案内を展示「闘病記」の本と共に設置。 ・子ども家庭部より、ヤングケアラーのチラシ提供を受け、展示「季節が変わる、ちょっとしんどいきミへ」の際に設置。	B：目標どおりできた		図書館
③	読書に障がいのある子どもへの支援（点字絵本や大活字図書、LLブック、多言語絵本などの資料整備）→「府立交野支援学校との連携」から移行	有	充実	市	B	B	B	・市内団体との共催による「絵の本広場」の開催 参加者98人 ・ブックスタート時、大阪府作成の多言語リーフレット「こどもと楽しむ、はじめての絵本リーフレット」を設置、日本語を母国語としない当該保護者へ配布を行った。 ・「読書を助けるいろいろな本」のテーマで点字絵本やLLブックを展示、パンフレットを設置し、読書バリアフリーの周知に努めた。	B：目標どおりできた		図書館
④	職員出前講座の実施（ボランティア等への講義実施、子育てサロン、サークルへのおはなし会等）	有	継続	市	B	B	B	・出前講座は、子育てサロン、地域子育て支援拠点、小学校PTAでの講義 計9か所 155人 ・読み聞かせ絵本の選書、年間スケジュール作成協力等	B：目標どおりできた		図書館
⑤	ヤング・アダルト図書コーナーの設置（YA向けの資料の充実、コーナー設置）	－	新規	市	A	A	B	・こども図書室にてヤングアダルトを対象にした特集展示を本格的に行った。 ・摂南大学現代社会学部1年生によるFAL事業の一環として、大学生のおすすめ本「基本」を学生からのポップと共におすすめ本を展示。いわゆるYA作品が多く、一般の貸出も多かった。	B：目標どおりできた		図書館
⑥	図書館利用の整備（子育て世代の図書館利用促進にかかる環境整備、サービスの充実）	－	新規	市	C	A	A	令和6度に購入したブンブン号を活用するため、星田北地域に3か所の試行巡回を行った結果、9月から新しく2ステーションの増設となった。合計13ステーションとなったが、ブンブン号での個人貸出冊数が前年度比約25%の増加となった。	A：目標を大きく上回ってきた		図書館

家庭への取り組み ー再掲ー	ブックスタートの実施（４か月児健診時に読み聞かせの啓発と絵本の無料配布）【再掲】	有	継続	市	D	E	B	H27.12より絵本の配布を開始。こども家庭室の健診の最後に絵本の紹介と配布を実施。あかちゃん絵本7冊から1冊の選択制。12回、対象505人、493冊を配布。ほかにも取り寄せた「本よんで、よんでもらってうれしいさん」（東京子ども図書館/作成）の冊子の配布を行った。大阪府作成の多言語リーフレットを設置、日本語を母国語としない当該保護者へ配布。令和7年度大阪府新子育て支援交付金455,000円を活用。	B：目標どおりできた		図書館 こども家庭室
	乳幼児のいる家庭向け絵本紹介（地域ボランティアや市立図書館からの絵本紹介）から名称変更【再掲】	有	継続	地域	B	B	B	・図書館内でのテーマ展示、特集展示で啓発及び利用促進 ・読み聞かせボランティアによる乳幼児向けおはなし会の実施@青年の家図書室11回　66人参加	B：目標どおりできた		図書館 こども園課 子育て支援課
	子ども向けイベントの実施（図書館利用促進のため、ぬいぐるみおとまり会、一日図書館員の募集、実施）【再掲】	有	継続	市	B	B	B	・一日図書館員　4人 ・ぬいぐるみおとまり会　32人参加。いずれも定員を上回る申し込みがある人気事業。	B：目標どおりできた		図書館
	子どもが集う場所での児童書の充実（まちの図書館等での絵本や児童書の充実、本を読む機会の拡充）【再掲】	ー	新規	市	B	B	B	・「まちの図書館」へ児童書の入れ替えを行った。 ・リサイクル・フェアにて3団体へ絵本の提供（子育て支援課（つどいの広場）、子育てネットワークティンクル、ばらりすひろば）合計101冊。	B：目標どおりできた		図書館 子育て支援課
	赤ちゃんタイムの実施（乳幼児とその保護者が気兼ねなく図書館利用ができる時間帯の設定）【再掲】	ー	新規	市	B	A	B	・令和7年4月から倉治図書館にて試行中であった「赤ちゃんタイム」を本格実施した。 ・利用が落ち着いた10月頃、こども園等の協力により、「赤ちゃんタイム」のポスター10枚、チラシ530枚の周知を行った。 ・赤ちゃんタイム時に、保健師2人を依頼し、育児相談会を開催した。事前予約制　2組参加。 ・地域子育て支援センターからの依頼により、赤ちゃんタイム利用者へ事業者による案内等の周知の場を提供。	B：目標どおりできた		図書館
	図書館利用の整備（子育て世代の図書館利用促進にかかる環境整備、サービスの充実）【再掲】	ー	新規	市	D	A	A	令和6度に購入したブンブン号を活用するため、星田北地域に3か所の試行巡回を行った結果、9月から新しく2ステーションの増設となった。合計13ステーションとなったが、ブンブン号での個人貸出冊数が前年度比約25％の増加となった。	A：目標を大きく上回ってできた		図書館
認定こども園・幼稚園との取り組み ー再掲ー	市立認定こども園の絵本蔵書の充実（園300冊をめざす、リサイクル・フェアの活用、団体貸出を含む）【再掲】	有	継続	園市	B	B	B	ブンブン号夏季巡回にて団体貸出　2園　231冊、団体貸出100冊 団体貸出等を活用し、2園とも400冊以上の絵本や児童書を所蔵、家庭へ貸出を行っている。	B：目標どおりできた		図書館 こども園課
	私立認定こども園、幼稚園等の絵本の充実（リサイクルフェアの活用、団体貸出を含む）【再掲】	有	継続	園市	C	A	B	・ブンブン号夏季巡回にて団体貸出12園　783冊 ・リサイクル・フェア参加　6園　186冊 ・園が図書館図書室へ来館し、直接本を選ぶ団体貸出　1,388冊　計2,171冊の貸出を行った。	A：目標を大きく上回ってできた		図書館
	幼稚園教諭や保育士に読み聞かせ講習会（年齢別絵本の選び方や読み方等）【再掲】	有	継続	園市	B	B	E	アンケート回答のあった21園中16園が読書についての学習の機会を希望。具体的な日程調整が難しく、実施には至っていない。	E：できなかった		図書館
	ブンブン号（移動図書館）の夏休み巡回（希望する園等に個別巡回）【再掲】	有	継続	市	C	A	B	・ブンブン号の夏季巡回は14園　1,014冊の貸出、保育士、幼稚園教諭へも資料提供を行った。同時に、図書館の蔵書を期限なく貸し出し、園で活用するための団体貸出依頼は570冊であった。 ・熱中症警戒アラートが発令されたため、キャンセルや時間を変更する園もあった。	B：目標どおりできた		図書館
	認定こども園や幼稚園向け乳幼児期の絵本の紹介（絵本リストの作成と配布）【再掲】	有	充実	市	D	B	A	・広報紙に「新しい本から」として新刊の中から児童書を2冊取り上げ、本の紹介を行っている。紹介した本は予約が入るなど有効な読書案内となっている。 ・広報紙で取り上げる「いっしょに読んで科学・知識のえほん」をテーマに、対象作品をピックアップし、リストを作成した。配布は行っていない。 ・「本よんで、よんでもらってうれしいさん」（東京子ども図書館/作成）の冊子をブックスタート時および希望するこども園等へ1,020冊配布した。 ・上記1.家庭における取組④のように、「読書体験」を目的に工夫を重ねている園が多い。	B：目標どおりできた		図書館
	市立児童発達支援センター（こどもゆうゆう）団体貸出とおはなし会の実施【再掲】	有	継続	市	D	A	B	ブンブン号での団体貸出　120冊　3か月ごとにテーマにそった絵本を司書が選書	B：目標どおりできた		図書館 児童発達支援センター
小中学校との取り組み	選書に関する情報提供、調べ学習等の支援（学級文庫及び授業支援、ビブリオバトルやブックトーク等への団体貸出、訪問おはなし会の実施）	有	継続	学校市	B	B	B	・学校司書やサポーターを配置し、図書担当教員等との連携により蔵書の量と質の向上に努めた。図書館蔵書の充実を図った。（令和7年度　小学校2,011冊、中学校656冊購入）	B：目標どおりできた		学校教育課 図書館
	学校図書館の環境整備（学校図書館司書の配置、学校図書館の環境整備、蔵書のデータベース、毎日開館、推薦図書コーナーの設置、図書館による小学校巡回便の活用、定例会による情報共有）「支援事業」より名称変更【再掲】	有	継続	学校市	A	A	B	・学校司書やサポーターを配置し、児童生徒の実態に応じた環境整備に努めた。 ・小学校巡回便の活用による調べ学習対応、授業支援、学びあいサポーター定例会での児童書に関する情報提供。	B：目標どおりできた		学校教育課 図書館
	教員向けに子ども読書活動等に係る講習会の実施（指導課と図書館が共同）【再掲】	有	継続	学校市	D	D	B	・学校図書館活用教育研修や新聞の活用研修を実施した。 ・令和7年度絵本学講座および「本の装備と修理」講座の開催	B：目標どおりできた		学校教育課 図書館

地域との取り組み【再掲】	地域家庭文庫や読み聞かせ等のボランティア団体との連携・支援【再掲】	有	継続	地域市	B	B	B	・地域家庭文庫への新刊提供 3文庫 88冊、活動は4文庫。 ・読み聞かせボランティアによる事業 おはなし会（青年の家図書室11回66人、星田会館図書室11回62人、こども図書室12回69人）、おたのしみ会各1回（倉治図書館14人、青年の家図書室18人 こども図書室20人、星田会館図書室13人） ・ブンブン号でのマルシェ参加、すべてのボランティアによる協力があった。マルシェおはなし会2回 144人開催ほか設営等。 ・「絵の本広場」共催 98人 ・地域子育て支援センターのぼらりすとの共催で「日曜ぼらりす 絵の本ひろば」を初めて開催 77人 ・かたの子ども文庫連絡会との共催ストーリーテリング等研修 5回 ・懇談、定例会による情報共有	A：目標を大きく上回ってきた		図書館
	子育てサロンや子育てサークル等での読書活動の推進（ボランティア紹介や団体貸出の活用）【再掲】	有	継続	地域社協市	D	B	B	・出前講座は、子育てサロン、地域子育て支援拠点、小学校PTAでの講義 計9か所 155人、ほか読み聞かせ絵本の選書協力等	B：目標どおりできた		図書館
	放課後児童会における読書活動の推進（団体貸出の活用、図書館での講座・リサイクル・フェア等案内）【再掲】	有	継続	市	B	B	B	・放課後児童会での日常的な絵本のよみきかせ ・リサイクル・フェアによる児童書の提供 3児童会 145冊 ・放課後児童会入会児童が、自由に読書を楽しみ、読書の幅を広げていくことができるよう、読書活動の機会の提供及び推進	B：目標どおりできた		子育て支援課 図書館
	子どもの読書に関連した各種講座開催（市民向け児童書関連の講座開催、よみきかせボランティアグループへの研修支援等）「よみきかせサポーター制度」からの移行【再掲】	一	新規	市	B	B	B	・令和7年度絵本学講座 参加者36人 ・「本の装備と修理」講座 参加者10人 ・かたの子ども文庫連絡会との共催でストーリーテリング等研修5回 ・摂南大学現代社会学部1年生によるFAL事業により、本や図書館を使った企画「大学生が見守ります!!宿題をやろう」、「大学生とみんなで楽しむクイズ大会」、絵本の読み聞かせと工作「作ってワクワクぷしおり&ブルバックカー」、トークイベント「学生と語らう1日限りのLibraryカフェ」を実施、参加者のべ35人、ほかに夏のおススメ本の展示「墓本」を行った。	B：目標どおりできた		図書館
	子どもが集う場所での児童書の充実（まちの図書館等での絵本や児童書の充実、絵本に触れる場所・機会の充実）【再掲】	一	新規	市	B	B	B	・「まちの図書館」へ児童書の入れ替えを行った。 ・リサイクル・フェアにて3団体へ絵本の提供（子育て支援課（つどいの広場）、子育てネットワークティンクル、ぼらりすひろば）合計101冊。	B：目標どおりできた		子育て支援課 図書館
普及啓発活動【再掲】	本の森プロジェクト（市民団体と連携し、本に親しむためのイベントを開催）	有	継続	実行委員会	E	D	B	図書館・教育総務企画課は不参加	B：目標どおりできた		教育総務企画課 図書館
	広報紙による絵本及び本の紹介（テーマにそった絵本を毎月紹介）	有	継続	市	B	B	A	・2,3歳を対象とした絵本の紹介記事を広報紙にて毎月掲載。新しく「いっしょに読んで科学・知識のえほん」をテーマに評価の高い作品をピックアップ、職員内でリストを作成、共有した。 ・引き続き「新しい本から」として新刊の中から児童書2冊を取り上げ、本の紹介を行っている。紹介した本は予約が入るなど有効な読書案内となっている。	B：目標どおりできた		図書館
	子ども向けイベントの実施（利用促進のため、ぬいぐるみおとまり会、一日図書館員の募集、実施）【再掲】	有	継続	市	B	B	B	・一日図書館員 4人 ・ぬいぐるみおとまり会 32人参加。いずれも定員を上回る申し込みがある人気事業。	B：目標どおりできた		図書館
	子ども読書活動推進計画の公表と周知、進捗状況調査【再掲】	有	継続	市	B	B	B	本計画の公表等、進捗状況調査の実施	B：目標どおりできた		図書館

＊評価の基準 A：目標を大きく上回ってきた B：目標どおりできた C：概ねできた D：少しはできた E：できなかった